

# 山形県 県・市町村 DX 推進体制整備事業業務委託 企画提案審査要領

## 1 審査・選定方法

- (1) 審査項目、審査の視点及び配点は下記のとおり。
- (2) 審査の流れ
  - ① 審査は、企画提案書により実施する。
  - ② 審査員は、2 配点及び採点基準に掲げる審査項目ごとに採点し、配点及び採点基準をもとに採点を行う。
  - ③ 各審査員の審査結果を集計のうえ、平均点が60点以上の企画のうち合計点数の最上位者（企画提案者が1者の場合は、60点以上の者）を選定候補企画とする。

## 2 配点及び採点基準

- (1) 審査項目ごとに5点満点で採点し、表の係数欄に定める審査項目ごとの係数を乗じた合計100点満点で判定を行うものとする。  
審査項目、配点は別紙 配点及び採点基準のとおり。
- (2) 評価は5段階で行うものとし、評価点の採点基準は下表のとおりとする。

採点基準	評価点
非常に優れている	5 点
優れている	4 点
妥当	3 点
やや劣っている	2 点
劣っている（又は記述がない）	0 ～ 1 点

(別紙)

## 配点及び採点基準

審査項目	審査の視点	配点	係数	得点
1. 実施方針	・ 本事業の目的及び事業内容等を理解し、これらのことを踏まえた全体方針となっているか。	5	2	10
2. 企画内容	(1) 県市町村協働の取組み（プロジェクト）に対する伴走支援			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伴走支援に係る方針やプロセス等が具体的に提案されているか。</li> <li>・ 関係者（県・市町村・その他関係者）のコミュニケーション設計は適切か。</li> <li>・ 対象市町村の状況差（規模、体制、成熟度）を踏まえた支援設計ができているか。</li> <li>・ 協働の取組みにかかる重要なポイントを押さえ、プロセスに反映しているか。</li> <li>・ 伴走支援の実施回数及びその根拠は適切か。</li> <li>・ 支援内容が「実装・定着(自走化)」まで見据えた提案となっているか。</li> <li>・ 提案事業者の有するスキル、ノウハウ及びリソース等を活かした提案となっているか。</li> </ul>	5	5	25
	(2) 市町村DX相談窓口			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村からの相談を受け、解決まで伴走できる運営体制があるか</li> <li>・ 市町村職員が自走できるようにする施策（ノウハウ移転、自走化支援）が示されているか。</li> <li>・ 相談対応の実施回数は適切か。</li> <li>・ 提案事業者が他自治体で類似の相談窓口業務や伴走支援を実施した実績を有しているか。その実績から得られた知見・手法を本県の提案に具体的に反映しているか</li> <li>・ 提案事業者の有するスキル、ノウハウ及びリソース等を活かした提案となっているか。</li> </ul>	5	3	15
	(3) DX推進体制構築の実証			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証の目的と対象範囲が具体的かつ妥当であるか。</li> <li>・ 人材確保・配置・評価・育成の仕組み（人材プール）の具体性と運用上の課題検討が十分か。</li> <li>・ 複数市町村での協働の取組みへの有効性と想定される課題、解決策が具体的に示されているか。</li> <li>・ 検証結果が県の方向性に整合し、県の意思決定に活用可能な形で整理されているか。</li> <li>・ 提案事業者の有するスキル、ノウハウ及びリソース等を活かした提案となっているか。</li> </ul>	5	5	25
3. 計画性	・ 事業計画や実施体制に無理が無く、妥当なスケジュールであるか。	5	1	5
4. 類似の業務実績	・ 本県または他都道府県において、本業務の執行に活かすことのできる同種・類似業務の実績があるか。	5	2	10
5. その他	・ 本事業の効果を高めるため、提案企業が有する知識、ノウハウ、技術、ネットワークを活かした企画が提案されているか。	5	1	5
6. 経費総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所要経費の積算は事業実施内容に対して妥当であるか。</li> <li>・ 経費の積算内容に不備、不適切なものはないか。</li> </ul>	5	1	5
		合計		100